

オペラ

木林は生きています

オペラシアターこんにゃく座

2025年12月21日(日)

開場時間14:30 開演時間15:00

会場 新宿文化センター大ホール(新宿6-14-1)



上演2時間10分
休憩15分含

一般
料金

指定席／大人3300円
18歳以下2200円
3歳未満無料(お膝席)
自由席／大人2200円
18歳以下1100円
3歳未満無料(お膝席)

*受付9月1日開始

*申込はHPから▶▶



会員無料

原作:サムイル・マルシャーク(訳:湯浅芳子)

台本・作曲:林 光 演出:真鍋 卓嗣

ココロを動かせ!
あそびつくせ!
まだまだ先へ!



後援:新宿区

新宿区教育委員会

(特非)あそびと文化のNPO
新宿子ども劇場

共催:公益財団法人新宿未来創造財団

主催
問合せ

(特非)あそびと文化のNPO新宿子ども劇場
〒162-0853新宿区北山伏町2-17 ゆったり~の共同事務所
TEL/FAX 03-5261-8696 MAIL shinjukukodomo123@gmail.com



★わんわん★ 11:00~14:00
クリスマスツナギ

もあるよ! *別途要申込

オヘラ 森は生きている

ものがたり

新しい年を迎える大晦日。
 年若い女王が、「四月に咲くマツユキ草が今すぐ欲しい」と
 言い出したために国じゅうは大さわぎ。
 ほうびの金貨に目がくらんだ継母と姉娘は、
 マツユキ草を探ってくるようにと、むすめを真つ暗な冬の森へと追いやります。
 森の中では一月から十二月の月の精たちが、
 焚き火を囲んで新年を迎える儀式をおこなっていました。
 むすめの話聞いた四月の精は、他の月の精たちに頼んで
 一時間だけ「時」をゆずってもらいます。
 すると冬の森はたちまち春へと季節をかえ、
 むすめの目の前で一面にマツユキ草が顔を出します。
 継母と姉娘は、むすめが摘んできたマツユキ草を取り上げると、宮殿の女王の元へ。
 マツユキ草を目にした女王は、自分でマツユキ草を摘むために
 宮殿の家来たちを引き連れて自ら冬の森へとソリで向かいます。
 そこで待ち受けていたものは…。

出演

QRコード

こんにく座は
 新しい日本オペラを創造し
 全国で上演しています

1月 総理大臣 沢井栄次

2月 警備隊長 吉田進也

3月 オオカミ 彦坂仁美

4月 カラス 泉篤史

5月 ウサギ 白石温

6月 もうひとつのオオカミ 青木美佐子

7月 むすめ 鈴木裕加

8月 女皇/オオカミ 豊島理恵

9月 おっかさん 齊藤路都

10月 女王 熊谷みさと

11月 兵士 松田祐慈郎

12月 博士 高野うるお

ピアノ 入川舜

新子も劇つなにな？
宿ども場てあ？

● ●

これからの活動

12月 7日(日)『ライフイズアサーカス!!!!!!』@戸山小学校校体育館
1月18日(日)『食器は歌う』@落合第一小学校校体育館
2月 8日(日)『しんじゆく・キッズ♡ミュージアム』
@四谷区民ホール
3月 8日(日)『子ども商店街』@エコギャラリー新宿

劇場での鑑賞に不安がある人でも安心して舞台芸術を楽しめるように、通常の公演よりも鑑賞マナーを緩和した公演形態の事です。障害の有無や年齢に関わらず、誰もが気軽に芸術文化に触れる機会を増やすことを目指しています。

本公演は、通常の公演で期待される鑑賞マナーを緩和して実施するものです。上演中もお客様の移動やざわつき、多少の話し声が予想されることをご理解くださいますようお願いいたします。

(特非)あそびと文化のNPO
アソビ

新宿 さとも 劇場



みらいチケット
プロジェクト

考友

新宿子ども劇場は、
子どもたちの文化体験格差を
なくすための活動を進めています。
文化体験へアクセスしにくい子どもたちへ
「鑑賞チケット」をプレゼントしませんか？

みらいチケット を購入していただくと、子どもたちを支援している団体を通して、子どもたちに届きます。

協賛：あさひ住宅(株)・おかもと歯科医院・新大久保にじいろおやこクリニック・魚屋ひろし・三美理想社第一資料印刷株式会社